

中部横断自動車道（長坂～八千穂）長野県区間の  
1 k mルート帯及びI Cの概略位置の説明会  
概 要

平成30年11月1日 南牧村中央公民館

《説明》

- 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
- 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
- 長野県区間の1 k mルート帯及びI Cの概略位置の考え方について（長野国道）
- 長野県区間の1 k mルート帯及びI Cの概略位置について（長野国道）

《質疑応答》

- 住民A  
成果報告作成に行政が労力を掛けたことを評価する。この計画は何ヵ年計画で進めるのか。
- 説明者（長野国道）  
必要な道路として進めていくので、いつまでにということは決めていない。
- 住民A  
3 k mルート帯から1 k mルート帯になった説明は受けたが、車線数と幅はどれくらいか。
- 説明者（長野国道）  
現在までに供用している区間の舗装幅は1 0 m強で片側1車線である。盛土箇所等は、その分（道路の全体幅が）広がる。しかし、本日の説明は1 k m幅のルート帯についてである。
- 住民A  
あと何年掛かるのか。5年、10年、20年、聞く方としては評価できる結論が欲しい。助言であるが、行政は地域との密着が無い。村長は地域との密着、業務の進行に努力してほしい。いつまでにできるのかが住民の最大の関心である。そこが疑問。
- 住民B  
八千穂高原インターチェンジまで開通して便利になった。80歳の両親、就職を控えた子供2人と暮らしている。働く場所を求めて高速を利用して村外へ

出る者もいる。過疎化を進めたくないの、建設に向けて事業を進めてほしい。

○住民C

大規模農業の方（大規模農業を営んでいる方）の意見であるが、優良農地をどのように配慮したのか。

○説明者（長野国道）

この地域には広大な農地が広がっている。3kmルート帯から1kmルート帯にする際の配慮として、南牧村からの要望を受け、生産性の高い農地に配慮し、1kmルート帯は可能な限り3kmルート帯の西側とした。

○住民C

3kmルート帯の一番西側ということか。

○説明者（長野国道）

そのとおり。

○住民D

34km一体で進めるのか。現在までの開通区間は最初に佐久南インターチェンジまで、その後、八千穂高原インターチェンジまでと2回に分けて開通したように、段階的に進めていくのか。

○説明者（長野国道）

今後、具体化していくことなのでまだわからない。

○住民D

全体が決まらないと進めないということか。

○説明者（長野国道）

今の段階では答えられない

○住民D

南相木村や北相木村の人は、海ノロインターチェンジまであればいいと言っている。住民の要望を聞きながら段階的に整備してはどうか。

○住民E

要望をきちんと聞いてくれたのか危機感がある。村の要望なのか、住民の要望なのか分からない。

○説明者（長野県）

勉強会、みらい会議においては、住民の方にご参加していただいた。特に勉強会では多くの方の意見をくみ取ることができたと認識している。

○住民E

東京から来る時に通っているが、無料区間のままなのか、全線開通してつながれば有料になるのか。無料で進めてほしい。

○説明者（長野国道）

調査中というのは事業化されていないということで、誰が造るかは決まっていない。例えばNEXCOが事業化すると有料、国が事業化すれば無料になることが考えられるが、これから決定していくこと。

○住民E

有料、無料になる基準は何か。

○説明者（長野国道）

道路の位置付けで変わる。

○住民E

通り抜けだけの道路にならないか心配している。

○説明者（長野国道）

3か所のインターチェンジによって国道141号とのアクセスがあるので病院にも行き易くなる。機能性は拡大する。

○住民E

今は国道が1本しかないので中部横断建設を推進して欲しいという人は多いと思う。ぜひ住民目線で考えて欲しい。有料なら無理して優良農地をつぶす必要はない。優良農地をつぶしてまで造るならすぐに使える道路にしてほしい。

○住民F

3kmルート帯から1kmルート帯への接合部が、若干西側へ寄っていると  
思うが。野辺山駅西側の牧場の形が違っている。

○説明者（長野国道）

形は同じ。ルート帯の赤線が上に被さっているので形が違うように見えるのかも知れないが、下絵は同じものを使っている。

○住民F

もっと大きな図は作成していないのか。

○説明者（長野国道）

作成していない。

○住民G

今後どうするのかを聞きたかった。事業の進め方を聞きたい。

○説明者（南牧村）

今日の説明会は、7月に決定したルート帯の説明である。

○住民G

今後どう進めていくのか。

○説明者（長野国道）

今後の手続きとしては、環境調査を進めていく。環境影響評価では景観や地下水、動植物等の調査をして環境への影響を評価するものである。具体的な道路の構造決定はその後実施することになる。

○住民H

今回の説明会の設定として、村民・別荘所有者のみである点はおかしい。

○説明者（長野国道）

3kmルート帯から1kmルート帯になり、変更になった地域の方への説明会として開催するものである。

○住民H

模式図だとわかりづらい。これ以上は無いと言うが、ルート帯で見てもわからないので航空写真に線を入れるようお願いしたい。1kmルート帯で決まったのなら、もっと詳しくしてほしい。

○説明者（長野国道）

ルート帯はおおよその絵として見てほしい。計画の過程である。今は概ねの位置を公表した段階であり今後詳細な検討を行っていく。

○住民H

7月下旬に関東地整に行き、今の3kmルート帯よりもっと西側にするよう要望した。今の1kmルート帯では別荘、優良農地、介護施設が有り良くない。

○説明者（長野国道）

3kmルート帯のもっと西側の案について、6町村の意見集約としてアクセス性を求めているため、離れてしまうと国道141号とのアクセスを配慮したことにならない。

○住民H

環境影響評価に入るとのことだが、ここは標高が1300～1400mあり、降雪、砂嵐の中を走行するのは無理である。トンネルを検討すべき。

○説明者（長野国道）

トンネル等具体的な工法については、今後の環境影響評価等の手続きにより固まっていく。

○住民H

県の説明会で、受けたことを国へ伝えると言っていたが、どうなったのかを聞かされていない。ひとつひとつの質問や意見に答えてもらいたい。

○説明者（長野県）

勉強会、みらい会議で頂いた意見は、南佐久郡全体会議で集約された。南佐久郡全体会議の構成員の南佐久6町村の建設担当課長が、計画調整会議の構成員になっているので、住民の意見を国に伝えることができたと認識している。

○南牧村長

村議会において、村議から国、県に来てもらいたいという要求に答えて集まってもらっている。また、3kmルート帯から外すのは振り出しに戻ってしまう。

○住民H

議会で国の生の声を聴きたいと発言した。実現したことは良い。最初に言うべきだった。申し訳ない。

ルートに関する説明会は初めてである。国の説明会も初めてである。参加条件に川上村、南相木村が入っていないのはおかしい。今後、詳しい資料での説明はあるのか。

○説明者（長野県）

第2回計画調整会議後、南佐久6町村では、チラシ等による住民への広報を行っていると言っている。それぞれの町村と相談し、ルート帯の変化があった南牧村、小海町及び佐久穂町については、今回の説明会開催に至った。

○住民H

以前、「ルート帯は全てではない。国がルートを決定する以前であれば別のルートの検討も認める」と国が言っていたのでぜひ検討して欲しい。工事費の比率として、盛土：1、橋梁：4、トンネル：6でトンネルが最も高いと言われた。高額だからトンネルはダメではなく、本当に必要な道路ならトンネルも選択肢である。勉強会での意見の主だったものは、もっと西側だったはずだが反映されていない。

○説明者（長野県）

南佐久6町村の建設担当課長が計画調整会議に入っているため、多種多様な意見を今回の1kmルート帯に反映できていると認識している。

— 以上 —